

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和02年度（2020年度）		授業科目	第2外国語（中国語）（0922）	
科目基礎情報							
科目番号	5E02		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	産業システム工学科電気情報工学コース		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	『しっかり初級中国語』（石田友美・桑野弘美・島田亜実・鈴木ひろみ 著）白水社						
担当教員	林 雁青						
到達目標							
中国語の発音記号であるローマ字表記法をマスターする。 日常生活で使える基本的な挨拶を身につける。 努力目標として日中異文化の違いが理解できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
中国語の発音記号であるローマ字表記法をマスターする。	中国語の発音記号であるローマ字表記法をととも正確にマスターしている。		中国語の発音記号であるローマ字表記法をマスターしており、不正確な部分が少ない。		中国語の発音記号であるローマ字表記法をマスターしようとする姿勢はあるが、不正確な部分に改善の余地がある。		
日常生活で使える基本的 な挨拶を身につける。	日常生活で使える基本的 な挨拶を身につけ、実践で正確に、積極的に使える。		日常生活で使える基本的 な挨拶を身につけ、実践で、だいたい正確に使える。		日常生活で使える基本的 な挨拶を身につける努力はしているが、正確さと積極さがやや足りない。		
努力目標として日中異文化の違いが理解できる。	日中異文化の違いをととも正確に理解しており、説明できる。		日中異文化の違いをある程度理解しており、説明できる。		日中異文化の違いを理解する姿勢は見えるが、正確さや、説明能力に改善の余地がある。		
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー DP6							
教育方法等							
概要	初歩レベルの中国語を習得し、かつ中国社会、文化に対しても理解を深める。						
授業の進め方・方法	学習は発音の修得から始まる。その後、簡単な会話文を用いて、日常で使える基本的なコミュニケーション能力を身につけることである。						
注意点	音声教材を活用して復習を十分に行ってください。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	発音① 声調・母音			声調・母音を正しくマスターし、基本的な挨拶ができる。	
		2週	発音② 子音			子音を正しくマスターし、名前の尋ね方と答え方ができる。	
		3週	発音③ n/ng付母音			n/ng付母音を正しくマスターし、数字1～9 9まで言える。	
		4週	発音④ 発音規則			発音規則をマスターし、日付の言い方ができる。	
		5週	第1課 何を食べるの？			語句、課文を聞く・読む・書くことができる。文法のポイントをマスターする。	
		6週	第1課 何を食べるの？			課文の会話文を自然に話すことができる。トレーニング1の文型と総合練習1をマスタする。	
		7週	復習			発音①～④と第1課を復習し、試験に備える。	
		8週	到達度試験（答案返却とまとめ）				
	2ndQ	9週	第2課 それって中国語の新聞？			語句、課文を聞く・読む・書くことができる。文法のポイントをマスターする。	
		10週	第2課 それって中国語の新聞？			課文の会話文を自然に話すことができる。トレーニング2の文型と総合練習2をマスタする。	
		11週	第3課 かわいい！			語句、課文を聞く・読む・書くことができる。文法のポイントをマスターする。	
		12週	第3課 かわいい！			課文の会話文を自然に話すことができる。トレーニング3の文型と総合練習3をマスタする。	
		13週	第4課 何人家族？			語句、課文を聞く・読む・書くことができる。文法のポイントをマスターする。	
		14週	第4課 何人家族？			課文の会話文を自然に話すことができる。トレーニング4の文型と総合練習4をマスタする。	
		15週	復習（総まとめ）			第1課～第4課を復習し、100文字程度の自己紹介文を作成できる。	
		16週	到達度試験（答案返却とまとめ）				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	到達度試験など			発表		合計	
総合評価割合	100			0		100	
基礎的能力	100			0		100	
専門的能力	0			0		0	

分野横断的能力	0	0	0
---------	---	---	---